

会社概要

Corporate Profile

銀 一 株 式 会 社

● 会社名 銀一株式会社 (GIN-ICHI CORPORATION) 東京都中央区銀座 3 丁目 11 番 14 号 URL <http://www.ginichi.co.jp/>

● 所在地 ○映像機材営業部
(映像機材、デジタルカメラ、中古カメラ、画像関連処理機材の販売・アフターサービス、スタジオ機材、照明機材、写真暗室用品、
背景紙など撮影用機材の販売及びレンタル、オンラインショップの運営企画)
〒104-0052 東京都中央区月島 1 丁目 14 番 9 号
●スタジオショップ 電話：03-5548-5131 ファクシミリ：03-5548-5135
●レンタル 電話：03-5548-5132 ファクシミリ：03-5548-5135
●オンラインショップ Mail：onlineshop@ginichi.com
○映像機材営業部営業課 (レンタルスタジオ、制作会社、教育機関などへの法人営業及び写真家、映像作家への営業)
〒104-0052 東京都中央区月島 1 丁目 14 番 9 号 電話：03-6548-5642 ファクシミリ：03-4243-3964
○CO-CO 銀一カメラサロン (中古クラシックカメラ販売・買取)
〒104-0061 東京都中央区銀座 3 丁目 11 番 14 号ルート銀座ビル 電話：03-3544-4690 ファクシミリ：03-3544-4691
○海外商品部 (輸出入業務及び、輸入品の全国卸販売)
〒104-0061 東京都中央区銀座 3 丁目 11 番 14 号ルート銀座ビル 電話：03-5550-5036 ファクシミリ：03-3541-2445
○物流管理部 (商品の受発注、入出荷在庫管理全般)
〒104-0052 東京都中央区月島 1 丁目 14 番 9 号 電話：03-5548-5611 ファクシミリ：03-5548-5612
○本社 管理本部 (総務・経理・システム開発室)
〒104-0061 東京都中央区銀座 3 丁目 11 番 14 号ルート銀座ビル 電話：03-3541-6636 ファクシミリ：03-3541-2459

● 設 立 昭和 35 年 4 月 5 日 (創業 昭和 33 年 4 月)

● 資本金 18,000,000 円

● 従業員 62 名

● 役 員
代表取締役 丹羽 寿成
専務取締役 丹羽 智彦

● 事業内容 映像機材 (写真、動画、ビデオ、映画) の輸入及び販売、映像機材のレンタル、撮影スタジオ及び暗室の設計・施工、
デジタル撮影及び DTP システムの販売。
○米国 セットワークス社 (スタジオサブライ製品) 輸入元・総発売元
○米国 ティッフェン社 (写真、動画、ビデオ機材) 輸入元・総発売元
○米国 シンクタンクフォト社 (カメラケース製品) 輸入元・総発売元
○米国 オプテック社 (カメラストラップ・ポーチ製品) 輸入元・総発売元
○米国 ピークデザイン社 (カメラアクセサリー) 輸入元・総発売元
○米国 レンズコート社 (カメラ・レンズアクセサリー) 輸入元・総発売元
○ドイツ クロジール社 (動画、ビデオ機材) 輸入元・総発売元
○豪州 ロードマイクロフォン社 VID ライン (マイク・音声機材) 輸入元・総発売元
○台湾ナインドットソリューションズ (撮影補助機材) 輸入元・総発売元
○米国テザーツールズ (撮影補助機材) 輸入元・総発売元
○米国リアリーライトスタッフ社 (カメラアクセサリー) 輸入元・総発売元
○独国クランプラー社 (カメラバッグ製品) 輸入元・総発売元
セットペーパー、ステディカム等の総発売元
ニコン、キヤノン、ハッセルブラッド、ライカ、シナー、プロフォト、富士フイルム他、各種カメラ、ストロボ、
各種感材等特約店、PC 及関連機材取扱、積水化成成品工業株式会社代理店

● 主な取引先 朝日新聞社、読売広告社、電通、博報堂、世界文化社、扶桑社、小学館、ハースト婦人画報社、日本航空、サントリー、
NHK エンタープライズ、フジテレビ、日経 BP 社、花王、松屋、ソニー、日本デザインセンター、アマナ、伊東屋、東京都写真美術館、
東京大学、日本大学、東京藝術大学、東京工芸大学、多摩美術大学、日本写真芸術専門学校 他写真学校、ヨドバシカメラ、カメラのキタムラ、
ナニワ商会、ビックカメラ、浅沼商会、ビームス、東急ハンズ、ZOZO、システムファイブ、SAEDA、シュッピン、三越伊勢丹、Too、三友、
東京リスマチック、佐川印刷、アマゾンジャパン、スタジオエビス、代官山スタジオ、六本木スタジオ、
他 レンタルスタジオ数十社、三好和義氏、白川義員氏、篠山紀信氏、立木義浩氏、渡辺達生氏、上田義彦氏 他 写真家多数

● 主な仕入先 米国ティッフェン社、米国セットワークス社、米国シンクタンクフォト社、米国オプテック社、ピークデザイン社、リアリーライトスタッフ社、
独国クランプラー社、豪ロード社、ニコンイメージングジャパン、キヤノンマーケティングジャパン、富士フイルムイメージング、
DNP フォトイメージングジャパン、積水化成成品工業、浅沼商会、ダイワボウ情報システム、エプソン販売、モンベル、エイアンドエフ、
プロフォト、コメット、サンスターストロボ、ハッセルブラッドジャパン、ヴァイテックイメージング、他 約 300 社

● 主な取引先金融機関 三菱東京 UFJ 銀行・・・銀座支店 みずほ銀行・・・銀座支店 商工組合中央金庫・・・本店
北 陸 銀 行・・・東京支店 三井住友銀行・・・京橋支店 西京信用金庫・・・銀座支店

● 沿 革
昭和 33 年 4 月 銀座 1 丁目に移転、屋号を「銀一カメラサービス」と定め、プロ用写真機材の専門店として創業
昭和 35 年 4 月 株式会社に組織変更、丹羽壽彦 代表取締役役に就任
昭和 44 年 9 月 レンタル部門を独立、株式会社ライクを設立
昭和 46 年 6 月 ドライマウント部門を独立、株式会社ギンイチを設立
昭和 47 年 12 月 ハイクラスアマチュアの店「コ・コ」を出店、アマチュアコレクションカメラを取り扱う
昭和 48 年 1 月 貿易部門を置き、米国、ドイツ、英国と取引開始
昭和 48 年 9 月 商品センターを港区海岸に設置
昭和 53 年 3 月 レンタルスタジオへの機材納入と設計、施工を開始
昭和 58 年 7 月 米国セットワークス社との合併会社、セットワークスジャパン株式会社を中央区入船に設立しセットショップオープン
昭和 59 年 9 月 資本金を 900 万円に増資
昭和 60 年 8 月 セットワークスジャパン株式会社 資本金を 7,500 万円に増資
昭和 62 年 11 月 本社業務を中央区銀座 4 丁目の自社ビルへ移転
昭和 63 年 2 月 海外商品部を新設 輸入販売代理店として各種照明機材、写真用品の卸販売を本格化
昭和 63 年 4 月 新社名「銀一株式会社」に商号変更
平成元年 9 月 資本金を 1,800 万円に増資
平成 3 年 12 月 プロ用品ショップとカメラ、レンズショップ合併「フォトショップ」としてリニューアルオープン
平成 11 年 1 月 合併会社、セットワークスジャパン株式会社を中央区月島に移転し、セットショップリニューアルオープン
平成 11 年 2 月 商品センターを大田区平和島より中央区月島に移転、物流管理部を新設。
平成 13 年 5 月 デジタルフォトショップをフォトショップ 1F に移転、デジタルシステムの本格化に対応
平成 14 年 8 月 子会社 株式会社ギンイチを吸収合併、グラフィックス営業部として事業全面継承
平成 18 年 6 月 本社を中央区銀座 3 丁目の自社ビルに移転
平成 18 年 9 月 「銀一オンラインショップ」と称し Web 販売を開始
平成 19 年 3 月 セットワークスジャパン株式会社 (セットショップ) を吸収統合し、スタジオ機材部 (スタジオショップ) として事業全面継承
平成 19 年 4 月 丹羽寿成 代表取締役役に就任
平成 19 年 9 月 営業課及びレンタルとフォトショップの写真用品類、ストロボ関連品を月島スタジオショップに移転リニューアルオープン
平成 19 年 11 月 クランプラーの輸入直営店「クランプラーギンザ」を銀座一丁目に出店
平成 21 年 5 月 銀座店 (フォトショップ) を月島店 (スタジオショップ) に統合し「銀一スタジオショップ」として、顧客ニーズにマッチ
した「ワン・ストップ・ショップ」を実現
平成 25 年 11 月 中古カメラ専門店「CO-CO 銀一カメラサロン」を本社 8F にオープン

● 加盟団体 日本映像美術協議会 (JVA) 日本カメラレンタル協会 日本写真映像用品工業会 東京商工会議所
日本広告写真家協会 (APA) 日本スポーツプレス協会 (AJPS) 日本映画・テレビ録音協会